

2015年3月期 第3四半期累計(2014年4月~12月)決算説明電話会議 主要Q&A

Q : 第3四半期累計の増収+215億円の主因は？

A : 業務ソリューション(単体)で+145億円増収。主な内訳は、

-産業、流通・サービス+68億円は、製造業向けとネット系が凡そ半々。

-金融+67億円は、メガバンク向け増で+50億円、証券等で+17億円

ビジネスサービス(単体) +48億円は、新日鉄住金向でアイエス関連及び統合案件増等による+47億円による。

Q : 年度見通し売上高 1,950億円、経常利益 155億円の実現の見通しは？

A : 本年度は第3四半期まで前年に比し順調に売上高が増加し経常利益も増益基調である。

一方、昨年第4四半期売上高 582億円は社会公共の一過性大型案件が 30億円ほどあったこと等もあり相当高いレベルにあった。その反動減はあると考えている。

年度末に向けて業務ソリューションを中心に売上を確保し、年度見通し売上高の過達を図りたい。

また販管費はグローバル、事業基盤強化等で数億円ほど増加する見通しであり、増収と併せ年度損益見通しの達成を目指したい。

以 上